碧南市民病院広報誌

ほほえみ

NO.78

令和6年8月1日号

発行：碧南市民病院広報委員会

基本理念　碧南市民病院は、「温かな心のこもった医療」の提供を病院の基本理念として掲げます。

基本方針

1. 医の倫理にもとづいて、すべての人に平等に人格、権利を尊重して、心のこもった医療を行います。
2. 質の高い医療を提供します。
3. 安心の医療、心穏やかな医療を提供します。
4. 救急医療、地域医療機関連携の推進をします。
5. 健全な運営、管理を行います。

新任医師の紹介

1. 所属　2. 前任地

齋藤（さいとう） 理（さとし）

1.産婦人科

2.西知多総合病院

前任地では婦人科の手術を主に行なっておりました。産婦人科診療をより充実できるよう頑張ります。

奥村（おくむら） 澄枝（すみえ）

1.救急科

2.徳島県鳴門病院

自分の家族が診てもらいたいような診療をするように心がけています。よろしくお願いいたします。

渡邉（わたなべ） 夕樹（ゆうき）

1.外科

2.名古屋大学医学部附属病院

大学では肝胆膵を主に学んでおりましたが、もともと胃や大腸などの消化管、ヘルニア、痔、乳腺などの外科疾患はずっとやってきているので、何かありましたらご相談ください。市民に頼られる病院となるように励んでまいります。

等々力（とどろき） 一徳（かずのり）

1.整形外科

2.津島市民病院

地域の方々に貢献できるように励んでまいります。

筧（かけひ） 清香（さやか）

1.眼科

2.藤田医科大学岡崎医療センター

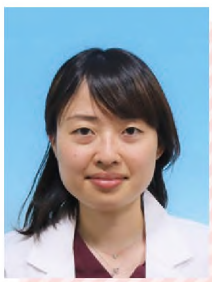
４月より着任いたしました。常勤１人の体制のため、特に手術日や時間外の対応が難しい場合もあり、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、市民病院としての役割を自覚し、地域の先生方と連携を取り、碧南市の医療に貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。

七原（ななはら） 秀彰（ひであき）

1.循環器内科

2.藤田医科大学病院

本年度より碧南市民病院の常勤医師となりました。循環器内科、総合内科を担当致します。地域医療に貢献できるよう励んでまいります。



藤原（ふじわら） 聖奈（せな）

1.産婦人科

2.愛知医科大学病院

女性の健康のサポートおよび安全な分娩環境の提供をできるように日々精進させていただきます。よろしくお願いいたします。

谷口（たにぐち） 安里（あんり）

1.外科

2.碧南市民病院（研修医から引き続き）

地域に貢献できるよう研鑽を積みたいと思います。よろしくお願いいたします。

山口 晃弘（やまぐち あきひろ）

1.整形外科

2.碧南市民病院（研修医から引き続き）

研修医から引き続き市民病院で勤務させていただきます。よろしくお願いします。

黒柳 一歩（くろやなぎ いっぽ）

1.歯科口腔外科

2.碧南市民病院（研修医から引き続き）

今年度から常勤歯科医師として勤務します。歯科治療を通じ、患者様のQOL向上のため日々邁進していきます。

髙津 宙子（たかつ ひろこ）

1.麻酔科

2.碧南市民病院（研修医から引き続き）

今年度から麻酔科常勤医として地域に貢献させていただきます。引き続きよろしくお願いします。

研修医の紹介

1. 所属　2. 出身大学

有馬 純花（ありま すみか）

1.研修医

2.名古屋大学

碧南市に住むのは初めてなのでいろいろ教えてください。皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

伊藤 樹希（いとう たつき）

1.研修医

2.北海道大学

一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

子安 優輝（こやす ゆうき）

1.研修医

2.山形大学

一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

竹田 貴大（たけだ たかひろ）

1.研修医

2.国際医療福祉大学

碧南市民病院の一員として精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

辻 絵里花（つじ えりか）

1.研修医

2.東邦大学

はじめまして。常に笑顔で、皆様に安心感を与えられるような医師になれるよう、一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

佐藤 敬太（さとう けいた）

1.歯科研修医

2.愛知学院大学

患者様の不安を少しでも取り除けるように頑張ります。

Doctor's File

先人たちの築き上げた技術、最新の医療機器の知識をブラッシュアップに日々精進

平野（ひらの） 桂滋郎（けいじろう） 先生／神経内科

当院にて神経内科／一般内科の診療に従事しており、専門領域はありませんが、神経内科全般を担当しています。その中でも、経験が多いのは脳卒中です。ここ数年で脳梗塞の急性期治療は大きく様変わりしました。脳の血管に血栓が詰まることによって生じるのが脳梗塞ですが、血栓溶解療法はその血栓を溶かして再び血液が流れるようにする薬です。血栓が詰まっている部分にカテーテルとワイヤーを用いて物理的に血栓を回収するのがカテーテル治療になります。発症間もない脳梗塞に対しては、これら二つの治療を組み合わせて行うことで麻痺の程度や社会復帰の可能性が格段に改善しました。当科では、脳神経外科及び名古屋大学脳神経外科のカテーテル治療を専門とするグループと連携し、超急性期脳梗塞に対して積極的に血栓溶解療法やカテーテル治療を行っています。

神経内科の専門領域は脳卒中以外に神経難病、認知症、てんかん、頭痛などがあります。これらの病気は血液検査や画像検査で簡単に診断のつくものではなく、問診や身体所見など実際に患者さんを「診ないと」診断できません。昨今の医学の進歩は目覚ましいものがあり、ともすればアナログな診察技術が軽視されがちな風潮となっています。その中にあって神経内科では伝統的な診察技術と最新の医療機器を組み合わせて診療を行っている科の一つです。先人たちの築き上げた技術や最新の医療機器の知識のブラッシュアップに日々精進するよう心がけています。

神経内科領域の疾患は、手足の麻痺や筋力低下、しびれなど日常生活への支障となる症状が多く出現します。また患者さんはそれぞれ社会的な背景が異なります。リハビリなどを行い身体機能の回復に努める一方で、患者さんお一人おひとりの身体機能や社会的背景を考慮し最適な治療やサポートを提案できるよう心がけています。

イベント予定一覧

令和６年

10月20日(日)　ジャパン・マンモグラフィーサンデー　※詳しくはP4へ
11月12日(火)　糖尿病週間関連行事
12月13日(金)　第１回市民いきいき健康講座

令和７年

１月10日(金)　第２回市民いきいき健康講座
２月14日(金)　第３回市民いきいき健康講座

病気のはなし

「アルツハイマー病新薬（一般名レカネマブ）治療」

土井（どい） 英樹（ひでき）先生／神経内科

昨年、アルツハイマー病の新しい治療薬（一般名レカネマブ）が発売されました。アルツハイマー病の原因となる脳内に貯まったアミロイドβというタンパク質を免疫反応で取り除くことで、病気の進行を遅らせる薬です。当院でも今年4月から治療を開始しました。

一般的に、対象はアルツハイマー病による「軽度認知機能障害」と「軽度の認知症」の診断を受け、更に神経心理検査・画像検査（頭部 MRI、アミロイド PET 等）で安全かつ効果的に治療が受けられると確認された方に限られます。そして治療方法は外来通院で、約1時間の点滴を2週間毎に1年半行います。

薬の副作用は、アミロイドβが除去されることに関連して、脳のむくみや出血（アミロイド関連画像異常 ARIA）が起こることがあります。ほとんどが無症状ですが、頭痛・めまい・吐き気・錯乱などの症状が起こる場合があります。この対策として、治療中には定期的な MRI 検査が必要となります。また、「血栓ができるのを防ぐ薬」や「血栓を溶かす薬」と一緒に使用すると出血を助長することがありますので、これらを内服中の方は医師との相談が必要となります。その他、過敏反応として頭痛・発熱・吐き気などのインフルエンザのような症状が現れることがありますが、これは初回の点滴で出現しやすいとされています。

当院では、認知症外来を受診された方のうち、対象の方へ治療をご案内しています。そのうち治療をご希望の方には、院内で追加の画像検査をしていただき、これらが基準を満たしている場合に、他施設でアミロイド PET によるアミロイドβの存在を確認した後に治療が開始となります。また、初回点滴の過敏反応対策として、安全のために初回治療のみ1泊2日の入院で受けていただくことになります。

治療は医療保険の対象ですが、ご希望の方には、相談員による高額医療制度の相談もご案内いたします。まずは、かかりつけの医師へご相談ください。

令和６年度 ジャパン・マンモグラフィーサンデー
乳がん検診を行います

10 月の第３日曜日はジャパン・マンモグラフィーサンデーです。
市民病院では、ピンクリボン運動に賛同し、乳がん検診の普及のために乳がん検診を実施します。

と　き	10 月 20 日（日）　9 時～ 12 時 30 分
ところ	市民病院
内　容	乳房Ｘ線写真撮影（マンモグラフィー）、医師による視触診、自己触診法の説明
対象者	碧南市在住で昭和 30 年４月２日から平成７年４月１日生まれの女性
定　員	24 人 ※申し込み多数の場合は抽選です。
料　金	1,400 円 ※市発行の無料クーポン券使用できます。
申込み	９月２日（月）～ 13 日（金）17 時に市民病院医事経営課医事係 ☎ 0566-48-5050 またはホームページの申込みフォーム

申込み